

平成24年第3回定例会一般質問

平成24年9月14日・18日・19日

(14枚のうち1枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
1	柿木原榮一議員	50分	<p>1 伊佐市で、「パーソナル・サポート・サービス（仮称）」モデル事業の構築は考えられないか。</p> <p>2 教育委員は教育問題での対応は大丈夫か。</p>	<p>(1) 伊佐市では、現在個々の課で、いろいろな悩み等を解決している。それぞれ職員が、自分の領域以外の仕事に関心を持って「おせっかい」をすることを連帯の基本として、借金等の生活困窮者や精神面で悩んでいる方、生活面での不安定さから求職活動を始められない方を対象に、関係課、関係機関と連携し、自立した社会参加を目指して支援し、併せて、こうしたいろいろな問題を抱える相談者に対応するため、地域全体の関係機関のネットワークを充実させることを目指すモデル事業の構築はできないものか。</p> <p>(2) 借金での自殺を回避し、また自殺未遂から生活再建をしたケース、過払い金回収で生活再建や滞納税金を完済したケース、就労支援で生活再建に繋がったケース、母子家庭を就労支援したケースなど解決した例がたくさんあるが、市民相談総合推進委員会設置は考えられないか。</p> <p>(1) 伊佐市教育委員は5人構成で、合議制で市の教育行政に決定権を持っている。滋賀県大津市立中学校でいじめを受けていた男子生徒が自殺した問題で、責任者である教育委員の姿が見えない。市教育委員は教育に関して、対応は大丈夫か。</p> <p>(2) 平成24年度伊佐市人権同和教育研修会が（8月1日）開催された。県人権同和対策研修専門員の前田隆幸氏が「昨今の人権同和问题を考える」という演題で講演され、いじめを含め、人権教育の啓発を図られたが、教育委員の欠席者があった。各学校の校長をはじめ多くの先生方、市役所職員の参加があったが、教育委員の情報の共有化はできたと考えているのか。</p> <p>(3) 伊佐市教育の活性化のため、市教育委員の何人かの公募制は考えられないか。</p>	<p>市長</p> <p>教育長</p> <p>教育委員長</p> <p>市長</p>	

平成24年第3回定例会一般質問

平成24年9月14日・18日・19日

(14枚のうち2枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
2	鶴田 公紀議員	30分	1 合併の成果と反省点について	(1) 合併協定項目の事業見直し実績と未解決項目は。 (2) 合併特例債の利活用状況と成果は。 (3) 少子・高齢化の進行に伴う人口減対策は。 (4) 各種職員研修及び派遣等に伴う行政運営への波及効果は。 (5) 人員削減（合併後の推移）、歳出抑制（決算資料での推移）による行財政の成果と矛盾点は。	市長	
			2 ヴォルカ鹿児島と伊佐市まちづくり協定について	(1) 包括協定項目は。 (2) メリット、デメリットは。 (3) 資金確保組織（プロ化）結成と当市との関係は。 (4) クラブ活動と学校の部活との関係は。 (5) 教室開催時の他競技団体との協議や施設使用料等は。	市長	

平成24年第3回定例会一般質問

平成24年9月14日・18日・19日

(14枚のうち3枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
3	久保 教仁議員	25分	1 チャレンジ基金について	<p>(1) 3年間に限定して投資するとしたチャレンジ基金は、今年度で効力を失うことになる。麴用米生産拡大事業以外は、2年もしくは単年度事業となりそうだ。基金創設の将来の基盤づくりとなるものに、複数年度の財源を確保し、継続的な投資で経済活動効果を創出するとした、所期の目的は達成できるのか。チャレンジ基金で取り組まれた事業ごとに伺いたい。</p> <p>(2) 優良種雌牛保留導入事業に見られるように、着実に成果を上げている事業への今後の対応をどう考えるか。</p>	市長	
			2 園芸農業の振興について	<p>(1) 高齢者の農業者・小規模農家・兼業農家に対する支援策は考えられないか。</p> <p>(2) JAの産直が規模を縮小して移転する。公設市場も不振が続く、苦慮されている。その他の直売所も年々売り上げが低迷してきている。ひいては、小規模農家の収入減少につながっている。国庫補助金等を活用し、直売所や道の駅をつくり、JA等に運営を依頼する等の方策は考えられないか。</p>	市長	

平成24年第3回定例会一般質問

平成24年9月14日・18日・19日

(14枚のうち4枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
4	左近充 議員	20分	1 合併浄化槽について	(1) 市の設置補助金の増額、延長は。 (2) 地元設置事業者の、環境保全協会への加入はどうなっているか。全社加入をすすめるべきではないか。 (3) 特殊工事での、補助金増額はできないか。	市長	
			2 旧本城校区広場について	(1) コミュニティで、有効活用できるように移譲できないか。	市長	

平成24年第3回定例会一般質問

平成24年9月14日・18日・19日

(14枚のうち5枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
5	前田 和文議員	30分	1 生活保護受給者の現況と課題について	(1) 現在の生活保護受給者の現況と傾向についてどのように把握しているのか。 (2) 高齢者の受給率が高くなっていると聞かすが、原因と課題克服に取り組んでいるのか。 (3) ケースワーカーの仕事は、非常に複雑な事案も多いと考えられるが、対応できる体制は十分に取られているのか。 (4) 各関係機関との協力連携構築に問題点はないか。	市長	
			2 市道大道下青木線の道路改修工事の進捗状況について	(1) 道路改修工事の進捗状況を報告されたい。 (2) 上目丸橋の架け替えを含めた、大まかな総予算額に対する財源のめどは確保できているのか。	市長	

平成24年第3回定例会一般質問

平成24年9月14日・18日・19日

(14枚のうち6枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
6	市来 弘行議員	30分	1 伊佐市を「教育」で活性化し、みんなが住みたくなるまちに。	<p>合併して早や3年9ヵ月が経過した。これまで、本市を活性化するためには、まず地域産業の振興対策が急務であるということを主張し、提案してきた。一方、そのことと同じくらい、人材の育成、地域づくりということを考えるとき、私たちは今一度、「教育」の果たす役割、その重要性について、改めて認識せざるを得ない。教育の目的は、そこに学ぶ人たちの「知」「徳」「体」をいかに伸ばしていくかということである。現在、実施されている諸施策の継続で、本当に十分なのであろうか。以下、具体的提案等も含めて伺う。</p> <p>(1) 先日、小学6年生と中学3年生を対象とした全国学力・学習状況調査の結果が発表された。県全体では、中学全教科で、全国平均を下回ったとのことであるが、伊佐市における状況はどうだったか。(小6、中3年それぞれに) また、県下で、頑張った自治体はどのようなところがあったか。その取り組み、効果等についてもお聞きしたい。</p> <p>(2) 教育委員会が主導する形で、しっかりとした計画のもと、市内小中学校全体の「基礎学力」の底上げにつながるような具体策は、何か考えられないか。</p> <p>(3) 「努力しています教育のまち」から「ユニークできらりと光る教育のまち」の実現にむけて。 生徒一人ひとりが、この伊佐の地で、「学ぶ」ことに誇りと喜びを感じ、かつその成果が結果としてあらわれ、その積み重ねが生徒の生きていくうえでの自信や足がかりになっていくような教育の実現に向け、学ぼうとする生徒たちを、市民と行政が一丸となって、サポートしていく仕組みをつくる。長期的な計画を立て、その政策に沿ってひとつずつ具体的施策を積み上げていくことはできないか。教育長の想いも含めて、見解をお聞きしたい。</p>	教育長	

平成24年第3回定例会一般質問

平成24年9月14日・18日・19日

(14枚のうち7枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
7	森山 善友議員	30分	1 市立中学校再編について	(1) 準備委員会の今日までの取り組みについて (2) 今後の進め方について	教育委員長	
			2 旧山野西小学校（山野西文化交流館）の活用について	(1) 今まで行われたものについて (2) 今後の課題について	教 育 長	
			3 伊佐市消防団の組織及び報酬について	(1) 市としての基本的な考え方について	市 長	
			4 公有財産取得基金について	(1) 新庁舎建設のために基金積立を計画されているが、必要に応じて、他のものに流用していく方向もあると説明された。今の考えは。	市 長	
			5 伊佐市の農業活性化について	(1) マカオに農産物販売をされたが、成果について見解を伺う。 (2) 伊佐米、畜産および伊佐市の特例作物の生産、販売等に、行政としてどこまで関与していくのか。	市 長	

平成24年第3回定例会一般質問

平成24年9月14日・18日・19日

(14枚のうち8枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
8	古城 恵人議員	40分	<p>1 家庭教育面に対する指導について</p> <p>2 公職選挙法第6条の規定に対する取り組みについて</p> <p>3 農業委員会等に関する法律第6条第3項の権限行使について</p> <p>4 財政運営への評価について</p> <p>5 効果的な有害鳥獣の駆除について</p>	<p>学校でのいじめによる児童生徒の自殺など悲惨な事件が全国で起きている。このことは学校教育というより家庭教育に起因する部分も大きいと思われるが、保護者を交えた家庭教育の現状と課題について伺いたい。</p> <p>公職選挙法第6条第1項にある選挙に関する啓発、周知など具体的にどのように進めてきたのか。</p> <p>高齢化全国トップの伊佐市は、農業従事者も又高齢化が著しい。農業を取り巻く環境も厳しい状況で、地域内の農家は離農後の生活や将来に希望をもてない状況にある。今後10年を待たずして、いや、5年後には村の農家はさらに半減の一途をたどることも予想される。農業委員会として、市に対して建議される考えはないか。</p> <p>平成23年度一般会計・特別会計歳入歳出決算及び定額資金運用基金の運用状況調査審査をしていただいた監査委員に、財政運営の適否の判断について三つの視点、計画性、弾力性、積極性についてどのような評価をされているか見解を伺いたい。</p> <p>市内猟友会はそれぞれ猟場があり他所には入れないようになっている。また、隣接市町との連携した駆除についても、県に下駄を預ける答弁をされている。 有害鳥獣捕獲隊は、シカを駆除しても放置すれば罰則が科される。また、場所によっては運搬も出来ないケースがある。市は捕獲隊が駆除に協力しやすい環境づくり、システムづくりに取り組む考えはないか。</p>	<p>教育委員長</p> <p>選挙管理委員会委員長</p> <p>農業委員会 会長</p> <p>監査委員</p> <p>市長</p>	

平成24年第3回定例会一般質問

平成24年9月14日・18日・19日

(14枚のうち9枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
8	古城 恵人議員		6 県教委の高校再編に対する市の対応について	<p>市内中学校を2中学校に統合することが決まった。県教委の高校再編への動きが早まることも懸念される。市当局と議会、市民一体となった取り組みは現在何もない状況である。</p> <p>県が再編案を示されてから対応される考えか。市長は、これまでの高校再編反対の立場をとられてきたが、中学を単立つ生徒の実情や地元の希望に合わせた学科等の設置要望など提案する考えはないか。</p>	市長	
			7 入札改革について	<p>入札は指名競争入札から一般競争入札へ、そして電子入札へと変わっているのが時代の流れである。水道課の場合、先般3者による指名競争入札が行われたと聞くが、市民の目から見て公平性、透明性に問題がありはしないか。</p>	市長	

平成24年第3回定例会一般質問

平成24年9月14日・18日・19日

(14枚のうち10枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
9	福本千枝子議員	40分	1 市長の政治姿勢について	<p>4年前、伊佐市まちづくりの目標として、「大地の恵みを人が奏でる だれやめの郷」として、公約を掲げ、実現に向け取り組んでこられた。その成果（実現率）と課題について伺いたい。</p> <p>(1) 子育て、障がい児（者）、高齢者対策、医療体制、健康づくり等市民生活を守るリーダーシップの実現は。</p> <p>(2) 農業振興、商店街、地場産業の活性化、企業誘致等の産業振興の成果は。</p> <p>(3) 行政コストの削減、職員の少数精鋭の行政の構築の成果は。</p> <p>(4) 合併後、人口減少が続いているが、その要因と今後の対応策をどうするか。</p> <p>(5) 伊佐市長として2期目に挑戦されるが、課題の山積する「伊佐市まちづくり」の目標を、どのように描いていく考えか。</p>	市長	

平成24年第3回定例会一般質問

平成24年9月14日・18日・19日

(14枚のうち11枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
10	諏訪 信一議員	15分	1 少子化対策について	<p>(1) 伊佐市では、母子から乳幼児・児童までの支援事業に、妊婦健診、育児相談事業、乳幼児医療制度等々、子育てにやさしい取り組みがされている。</p> <p>子育ての充実した伊佐市では、若い人たちの定住も目指し、結婚応援金として市内に3年以上居住するカップルに、10万円を支給できないか。</p> <p>(2) 6月からは有志の方々への頑張りで、「いさえん」という出会いの場が設けられ、9月議会に「いさえん」への追加補正も生まれ、たいへん喜ばしいことだ。</p> <p>ア 「いさえん」の6、7、8月の男女別の参加者人数はどのくらいで、何組のカップルが誕生したのか。</p> <p>イ 今後の支援計画はどのようにするのか。</p>	市長	
			2 自殺対策について	<p>年間3万人を超える自殺者を減らすため、自殺につながるうつ病患者を掘り起こし、早期治療につなげる取り組みが広がっている。</p> <p>(1) 今後の具体的な対策、取り組みについて伺う。</p> <p>(2) 民生委員、精神科医、内科医との連携は。</p>	市長	

平成24年第3回定例会一般質問

平成24年9月14日・18日・19日

(14枚のうち12枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
11	松元正議員	40分	1 伊佐の活性化は「ごみ拾い」から	<p>(1) 伊佐をきれいにするためには、まず、ごみ拾いを通して、「伊佐クリーンアップ作戦」や「伊佐マナー向上運動」などと題して活動すべきと思うが、見解を伺う。</p> <p>(2) 便利な伊佐にするため、10月1日からの交通対策に期待しているところだが、周辺市町村へのアクセス、市内の各施設等への循環や時刻表の表記の方法など、今後の課題として考慮する必要があると思うが、見解を伺う。</p> <p>(3) 伊佐を楽しくするために、各コミュニティではゴルフコンペを新しく始めたりしていろいろ工夫されている。過日、高校の同窓会で「ふるさと大口」という歌を知ったが、とても盛り上がってよかったので、これを「ふるさと伊佐」に変えて、ふるさと会などでアピールしたらと思うが、見解を伺う。</p> <p>(4) 沖縄に「(仮称)伊佐ゴールド米」を売ってはと思うが、見解を伺う。</p> <p>(5) 還暦ボーイズ・ガールズが「伊佐の田園風景のグリーンと山なみは心がなごむ」と言っていた。また沖縄のコバルトブルーの海と夕日を見たら、心が洗われ、いじめもなくなり、少年少女が大志を抱くかもしれないので、伊佐(山間地)と沖縄(広大な海と夕日)の交流を深めたらと思うが、見解を伺う。</p> <p>(6) 土地をもっている農家の離農が増え、耕作放棄地がますます増加している中、農地を集約して農作物の団地化を図り、大消費地の関東(東京)でも売れるような農作物の品質向上が必要と思う。手遅れにならないように今から少しずつでもした方が良くと思うが、見解を伺う。</p>	市長 教育長	
					市長	
					市長	
					市長	
					市長 教育長	
					市長	

平成24年第3回定例会一般質問

平成24年9月14日・18日・19日

(14枚のうち13枚目)

順位	発 言 者	発 言 時 間	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
12	畑中 香子議員	40分	1 国民健康保険制度について	(1) 国保税の申請減免を実施するべきではないか。 (2) 国保法第44条医療費の減免制度について、所得が前年の半額に落ち込んだ場合にのみ、適用するとの規定になっているのか。	市 長	
			2 子ども医療費の助成拡大について	(1) 県下19市で最低水準となっている、子ども医療費助成の拡大を求める。	市 長	
			3 学校教育環境の整備について	(1) 小中学校の普通教室にストーブを設置し、冬でもあたたかい教室で、勉強しやすい環境を整えるべきではないか。	教 育 長	
			4 超低空飛行訓練について	(1) 市民の安全を脅かす超低空飛行訓練問題について、調査し、公表すべきではないか。	市 長	
			5 水俣病について	(1) 7月末に、水俣病問題について申し入れをしたが、その後の対応はどうなったか。	市 長	

平成24年第3回定例会一般質問

平成24年9月14日・18日・19日

(14枚のうち14枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
13	中村 周二議員	30分	1 まちづくり政策について	<p>(1) 伊佐市には、素晴らしいカヌー競技場がある。どんな仕掛けでまちづくりができると考えられるか。</p> <p>(2) オリンピックや、世界選手権で活躍できる人材を育てる施策として、全国から20人ぐらいの特待生制度を設ける考えはないか。</p>	市長 教育長	